

9月20日(月)～26日(日)は動物愛護週間です

動物愛護週間は、動物の愛護と適正な飼養について、皆さんの理解と関心を深めていただくためのものです。

動物の飼い主の責任

- ①動物の種類や習性に応じて動物の健康と安全を確保しましょう。
- ②動物が人に迷惑を及ぼすことのないように努めましょう。
- ③みだりに繁殖することのないように不妊去勢手術を行いましょう。
- ④動物による感染症について正しい知識を持ち感染症の予防のために必要な注意を払いましょう。
- ⑤動物が自分の所有であることを明らかにするための措置を講じましょう。

動物を飼う前に

犬や猫に限らず、動物を飼うのは大変なことです。動物は私たち人間と同じように「命」ある存在だからです。「かわい」という気持ちだけでは、動物は飼えません。「飼いたい」だけでなく、「飼っていく」ことができるのか、きちんと考えましょう。

動物を飼う上で

動物が好きなら人もいれば、苦手な人もいます。周囲の方々へ配慮し、マナーを守り、最後まで責任を持って飼養しましょう。

環境課

☎(72) 4438

公共下水道への接続を！～9月10日は下水道の日～

本町の公共下水道は、汚水と雨水を別々に処理する「分流式」を採用しています。

これらの汚水を地下の下水道管に流すと、平塚市にある四ノ宮水再生センターで、きれいな水にするための処理が行われます。そして、きれいになった水を河川に放流することで、川や海がきれいになり、私たちの町は美しく、住みやすくなります。

公共下水道の接続について

台所などから出る汚水を公共下水道へ導くための排水設備(接続)の設置により、公衆衛生の向上や浸水対策等公共下水道整備の効果が現れます。

公共下水道処理区域に建物を所有している方は、速やかに排水設備を設置しましょう。

問 下水道課

☎内線214

町有地の山林を活用して

みませんか

現地見学・説明会の参加者募集

町美化センターで管理する山林を開放し、自身の活動の場として活用していただくために、継続的に活動を行える団体を募集するにあたり、活動予定地の見学・説明会を開催します。

▼日程

①10月6日(水)、②10月9日(土)、③10月10日(日)

各回9時30分～10時30分まで

▼場所

虫窪403-1、虫窪403-2(約1,400㎡)

※参加者には別途詳細を連絡します。

▼対象

町有地の山林の活用に興味がある団体

▼定員

各回10名程度(先着順)

▼申込み

9月21日(火)～9月28日(火)までに団体名、連絡先、参加希望者数、参加希望日を用紙(任意の様式)に記入し、EメールまたはFAXにて申込みください。

問 美化センター

☎(72) 4438

FAX(71) 8467

☒bika-shisetu@town.oiiso.kanagawa.jp

こんにちは

保健師です

9月10日の世界自殺予防デー

にちなんで、毎年9月10日から16日までの一週間は、国民一人ひとりが自殺予防について考える「自殺予防週間」として定められています。

「最近、イライラして落ち着かない」「肩こりや頭痛が続いている」などの心身に現われる症状は、積み重なったストレスが原因かもしれません。心の不調に早く気付いて、周りの人や相談機関に相談することが大切です。

◆自分でできること

『規則正しい生活習慣でストレス解消!』

次の①～④を心掛けて生活するようにしましょう!

- ①バランスの良い食生活を送りましょう
- ②運動習慣をつけましょう
- ③快適な睡眠を維持しましょう
- ④お酒は適量を守りましょう

◆身近な人ができること

『自殺のサインを見逃さないで』

自殺は前触れもなく突然起きるといわれることがあります。そうとは限りません。自殺に傾く人は、何らかのサインを発していることが少なくないのです。

◆こんなサインに注意

- ・口数が減って元気がない
- ・「消えてしまいたい」などと口にする
- ・孤立している
- ・大量のお酒を飲むようになる
- ・自分の健康をかえりみない

◆このようなときは皆さんの力が必要です

- ①ねぎらう
打ち明けてくれたことに誠意を示し、抱えてきた苦勞をねぎらいましょう。
- ②聴く
相手の話をじっくり聴き、共感します。助言や結論を急いではいけません。
- ③つなぐ
適切な相談者や機関へつなぎつつ、引き続き支援をしてあげましょう。

▼こころの健康相談窓口

☎0120(821)606
月曜～金曜(祝・休日、年末年始除く)
9時～21時(受付20時45分まで)

▼自殺予防のちの電話

☎0120(783)556
毎月10日 8時から翌朝8時までの24時間
☒スポーツ健康課 荒川
☎内線310